

# 外国語活動学習指導案

令和5年7月3日(月)第4校時  
3年3組 指導者 HRT 三輪 美鈴  
MES 高橋 秀子  
場所 3-3教室(北校舎2F)

## 【授業の視点】

自分の好みの色を伝えるために、「めあてステップ」を活用し本時のめあての設定や振り返り、目的意識をもたせるためにインタビューゲームを取り入れたことは有効であったか。

## I 単元名 Unit4「I like blue.」【好きなものをつたえよう】(Let's Try!1)

### II 考察

#### 1 学習指導要領上の位置付け

#### 2 内容

[知識及び技能]

##### (1) 英語の特徴等に関する事項

ア 言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。

[思考力、判断力、表現力等]

##### (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

ア 聞くこと

(ア) 身近で簡単な事柄に関する短い話を聞いておおよその内容が分かったりする活動。

ウ 話すこと [発表]

(イ) 自分の好き嫌い、欲しい物などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。

#### 2 単元について

本単元では、「Do you like (blue)? / I like ~. / Yes, I do. / No, I don't. / I don't like (blue).」の表現や色を表す語句を用いて、自分だけの虹を作成するために相手に好きな色を尋ねたり答えたりする。その価値は、以下の通りである。

《単元を通して資質・能力を育成する上で大切にすること(教材の価値)》

ア(知識及び技能)

・音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

イ(思考力、判断力、表現力等)

・ゲームや交流を通して、相手の好みを尋ねたり、自分の好みを伝え合ったりする。

ウ(学びに向かう力、人間性等)

・相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。

この学習は、今後、4年の「Unit 3 I like Mondays.」の学習へと発展する。

#### 3 本単元に関わる児童の実態

##### (1) これまでの学習

児童は、外国語活動を始めたばかりである。「Unit3 How many?(Let's Try1)」において、数の聞き方や答え方を学んだ。

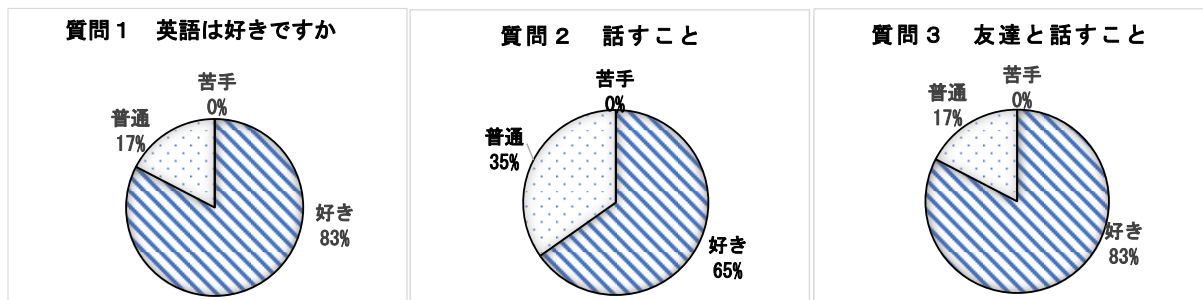
## (2) 本単元に関わる実態

上記の学習から、明らかになった児童の実態は、次の通りである。

- ア ゲームに等に積極的に参加したり発言したりできるようになってきている。しかし、まだ発音に自信をもてず、会話をするにとまどう児童も見られる。
- イ 相手に意思を伝えることはできるようになってきている。しかし、自身の紹介となるとまだ自分の考えを伝えるのが苦手な児童も見られる。
- ウ クラスの友達と笑顔で会話をすることができている。しかし、ゲームや発表になると **Gesture** や **Smile**、**Reaction** をまだ意識できない児童が見られる。

また、アンケートを実施した。以下のような傾向が見られた。選択で答える質問と回答は以下の通りである。

調査日：令和5年4月 外国語活動実施前のアンケート結果



本学級の児童は、外国語に対して苦手意識はなく、授業を行う中でも積極的に参加する児童が多い。また、話すことに関してもゲームなどを通して友達と話すことに関しては「楽しい」と感じている児童が80%を超えている。その一方で、まだ外国語活動に対して消極的な児童も見られた。発音練習において、話すことに苦手意識をもつ児童が見られる。その中には「うまく言えない言葉がある」などが挙げられた。

## III 目標

- ・音声やリズムにおける日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・自分の色の好みを伝え合う。
- ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みの色を紹介しようとする。

## IV 単元の評価規準

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①色の言い方や、好きな色を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	①それぞれの色が好きか尋ねたり答えたりするとともに、自分の好きな色を伝えている。	①相手に自分の好きな色がわかるように紹介しようとしている。

## V 指導方針

「知識及び技能」

- ・ **Fiddle Stick Game** を活用し、単語の確認を事前に行い、しっかりと色の表現に慣れ親しむことができるようにし、言語活動を行う際には、単元で必要な単語や表現を段階的に取り入れるとともに、**Picture cards** や歌、チャンツで繰り返し練習を行い語句や表現に慣れ親しめるようにしていく。

「思考力・判断力・表現力等」

- ・単元の目標に自分だけの虹を作るという目的を入れることで、自分の好きな色を考える必要感をもって活動できるようにし、自分で考えた虹を紹介する際には、小さなグループから始め自信をもって紹介できるようにする。

「学びに向かう力、人間性等」

- ・児童の言葉と前時の振り返りを基に、単元の課題と毎時間のめあてを決めていくことで見通しをもって学習に取り組めるようにするだけでなく、振り返り際には、本時のめあての達成度や前時の自分と比較させることで学習の成果を実感し、次時への意欲を高められるようにする。
- ・英語の発音がうまくできなくても、励まし、よいところをほめて、児童が自信をもって取り組めるようにする。

## VI 指導と評価の計画 (全4時間計画、本時は3時間目)

過程	時間	ねらい めあて	主な学習活動 ☆振り返り(意識)	評価項目(評価方法)		
				知	思	態
つかむ	1	単元の課題や学習の見通しをもち、色の言い方に慣れ親しむ。  色をおぼえて、言えるようになるう。	☆色の名前が言えるようになった。 ☆早くにじを作ってみたい。 ☆知らない色を言えるようになった。 ☆△△色のにじにしようかな？	①色の表現に慣れ親しんでいる。 (行動観察・振り返りカード)		
追究する	2	好きな色について伝えようとしている。  すきな色を言えるようになるう。	☆○○色が好きって言うことができた。 ☆もっと聞いて、友達の好きな色も知りたいな。 ☆次は、スラスラ言えるようになりたいな。	①好きな色の言い方に慣れ親しんでいる。(行動観察・振り返りカード)		①相手にわかるように好きな色を伝えようとしている。(ワークシート・行動観察・振り返りシート)
	3 (本時)	好きな色と答えたり尋ねたりする表現を使って友達の好きな色を聞く。  友だちのすきな色を聞いてみよう。	☆私の好きな色は○○色って言えた。 ☆友達と好きな色が同じだった。 ☆今度は、好きな色で虹を描きたいな。		①相手の好きな色を尋ねたり答えたりしている。(ワークシート・行動観察・振り返りシート)	①相手にわかるように好きな色を伝えようとしている。(ワークシート・行動観察・振り返りシート)
まとめ	4	自分だけの虹を作成し、紹介しようとしている。	☆自分だけの虹を作ることができてよかったな。	①好きな色の語句や表現に慣れ親しんでいる。(行動観		①相手にわかるように好きな色を紹介しようとしてい

	自分だけのじをえがいて発表しよう。	☆○○さんの虹と私の虹は似ているな。	察・振り返りカード)		る。(ワークシート・行動観察・振り返りシート)
--	-------------------	--------------------	------------	--	-------------------------

## Ⅶ 本時の学習（本時は3／4）

### 1 ねらい

インタビューゲームを通して、好きな色の尋ね方や答え方の表現に慣れ親しむとともに、相手に自分の好みの色を伝え合う。

### 2 準備・資料

教師：教師用タブレット、掲示用 PC（授業のルール、気持ち、天気、曜日、色）、「めあてステップ」、Who am I?カード、ワークシート、スタンプ2つ、シール、HELP & CHECKカード

児童：英語ファイル、名札、筆記用具

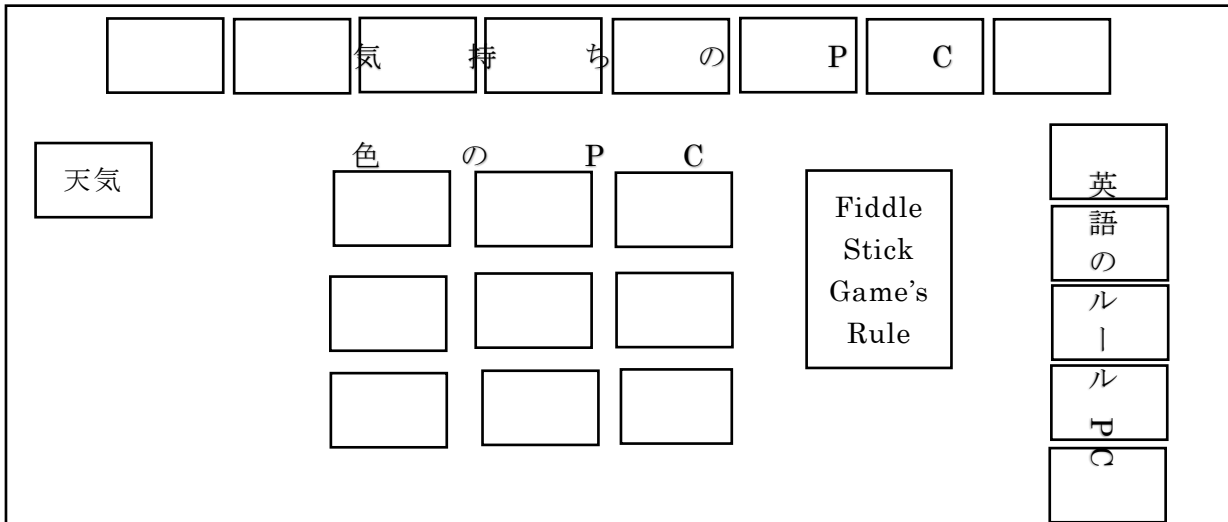
### 3 本時の展開

学習活動	時間	指導上の留意点・支援		評価項目
		T1 HRT	T2 MES	
1 あいさつをする ・あいさつ、体の調子、歌、天気について答える。 ・Hello, Misuzu sensei. ・I' m fine. /happy. /OK. And you? ・Hello, Hideko sensei. ・I' m fine. /happy. /OK. And you? ・It' s ( ). (1) Hello song (2) Seven Steps (3) Coconut Song	7分	○黒板に、授業のルール (Smile, Clear voice, Eye contact, Gesture, Reaction) を掲示し、いつでも児童が確認できるようにする。 <Greeting> ○今の気持ちを伝えられるように Picture card を掲示する。 ○MES と児童がスムーズに会話ができるように一緒に答えたり、会話を促したりする。 ○児童が楽しく参加できるように一緒に歌い楽しい雰囲気作りを心がける。	○HRT が授業を進めるにあたり児童と一緒に答える。 ○児童が It' s をしっかりとつけて答えられるように一緒に答える。 ○児童と共に歌に参加したりうまく参加できない児童の支援を行ったりする。	
2 めあてをつかみ、学習の見通しをもつ。 ・自分の虹には○○色を入れたいと思う。 ・色を英語でしっかりとと言う事ができた。	10分	○前時の振り返りを数人に発表してもらい、学習の見通しをもてるようにする。 ○単元の導入で使われた虹クイズを出し、本時のめあてにつなげられるようにする。 ○視覚教材を掲示すること	○児童が、理解できるようにともに答えを考える。	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・わ～だれだろう？</li> <li>・私も同じ！</li> <li>・青が嫌いだって。</li> <li>・黄色が好きなのは、○</li> <li>○先生かな？</li> <li>・○○先生じゃないかな？</li> <li>・もっとやってみたいな。</li> <li>・私なら、△△を入れたいな！</li> </ul> <p>・前は、色をマスターしたから・・・。</p> <p>・この間は、うまく聞けなかったから、ちゃんと聞けるようになりたいな。</p> <p>・今日は、友達に好きな色について聞いてみたい！</p>		<p>で、何の話をしているのか児童が理解できるようにする。</p> <p>○答えられた児童を称賛したり、難しい場合には必要に応じてヒントを提示したりする。</p> <p>○「今日はどんなことをしていくといいかな」と投げ掛けながら「めあてステップ」を活用し、児童の言葉を基に本時のめあてを設定し、学習の見通しもって意欲的に取り組めるようにする。</p>	<p>○答えられた児童を称賛し、English Tripにスタンプをおす。</p>
<p>Today' s goal : 友達の好きな色を聞いてみよう。</p>		<p>○本時のめあてを「めあてステップ」に示し、振り返りシートに記入をするよう促す。</p>	<p>○振り返りシートに記入できたか確認をし、児童の支援をする。</p>
<p>3 インタビューゲームをする。</p> <p>(1) デモンストレーションをみる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな色はそういう聞き方だったな！</li> <li>・色の言い方は知っているな。</li> <li>・○○って言いづらいな。</li> <li>・前回スマイルはできたから、ジェスチャーとかやりたいな！</li> </ul> <p>(2) 練習をする</p> <p>&lt;学習する表現&gt;</p> <p>Do you like ○○?</p> <p>Yes, I do.</p> <p>No, I don' t.</p> <p>Thank you.</p>	<p>20分</p>	<p>HRT: Let' s play a game.</p> <p>ST: That' s a good idea!</p> <p>HRT: I' ll show you how.</p> <p>○本時で扱う Yes, I do. や No, I don' t. の後に繰り返しを入れたいりしてデモンストレーションを行い、児童にも意識して聞くように促す。</p> <p>○リアクションを入れながら練習を行うよう促すことで、より相手を意識できるようにする。</p> <p>○前時の振り返りで言いづらかった表現については特に繰り返し練習を行うようにする。</p> <p>○Picture cards を掲示し、目でも確認できるようにする。</p>	<p>○大きなジェスチャーやリアクションでデモンストレーションを行う。</p> <p>○児童とともに練習を行い、なかなか言えない児童の支援を行う。</p> <p>○日本語と発音やアクセントが違う単語については、特に丁寧に繰り返し発音させる。</p> <p>○難しい単語はゆっくりと発音し、児童が</p>

<p>(3) インタビューゲームをして友達の好きな色を聞く。</p>		<p>○ペア活動から始め、児童が単語に慣れ親しんで参加できるようにする。  ○表現や語句が分からない場合に教師に聞ききにこられるように「HELP」と「CHECK TIME」を首にかけ支援をする。  ○支援の必要な児童には、教師が積極的にアプローチをかけ、参加できるようにする。</p>	<p>自信をもって発音できるようにする。  ○児童に質問をしたり一緒に答えたりすることで、児童が自信をもって聞いたり答えたりできるようにする。  ○児童と交流を行い、児童が積極的に参加できるよう声掛けを行ったり、できている児童を称賛したりする。</p>
<p>評価項目 主①（活動・記述）  友達の好きな色を尋ねたり、自分の好きな色を答えたりし、インタビューゲームをしようとしている。</p>			
<p>4 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。  ・今日は色の言い方や好きな色の聞き方を使って友達に聞いた。  ・友達の好きな色を聞くことができた。  ・友達に聞くことができて、自分と同じ色が好きなことがわかった。  ・次は自分だけのにじを作ってみたいな。</p>	<p>8分</p>	<p>○本時の学習を振り返り、めあてを達成できたかを確認し、振り返りシートを記入する時間を設定する。  ○「今日のめあてを達成できたか」「前時とくらべ、何ができるようになったか」と問い掛け、自分やお互いの頑張りを実感できるようにする。  ○「次の時間はどんなことをやっていけばいいかな」と問い掛けながら、次時への意欲を高められるようにする。</p>	<p>○机間支援を行い、しっかり記入できている児童は、称賛し意欲を高める。</p>

板書計画



<ホワイトボード>

